

2025 年 9 月 24 日

報道関係者各位

福井コンピュータ株式会社

【続報】 革新的な 3D 表示技術を搭載した 3D 点群処理システム 「TREND-POINT」の最新版を、2025 年 10 月 21 日（火）リリース!

「3D Gaussian Splatting」※による高精細な点群表示などで、“魅せる”点群活用を提案!

建設業向け CAD メーカーの福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表者：代表取締役 COO 杉田 直）は、革新的な 3D 表示技術を搭載した 3D 点群処理システム「TREND-POINT」の最新版を 2025 年 10 月 21 日（火）にリリースいたします。

今回リリースする最新版では、革新的な 3D 技術「3D Gaussian Splatting」（3DGS）による表示対応に加え、点群と写真の重畳表示、点群の球体表示、さらに出来形ヒートマップの AR データ出力機能を追加します。これにより、建設現場における計画や計測、記録業務の精度と効率性をさらに向上させるとともに、維持管理や災害記録、遺跡調査、文化財などのデジタルアーカイブといった、3D 点群データを視覚的に活用できる新たな分野への提案を推進します。

なお、本案内は 2025 年 6 月 16 日に発表した同内容の詳細情報となります。

※：3D 空間に配置されたガウス分布を使ってシーンを表現し、それを 2D 画像として投影してレンダリングする新たな 3D 再現技術です。

【新機能のポイント】

1. 3DGS による写実的な 3D 表現

細部表現に優れ、より実物に近い滑らかな 3D モデル表現が可能で、新たな分野での活用が期待されます。

2. 点群と写真の重畳表示

正確な座標を持つ点群と、視認性の高い写真を重ねた表示に対応し、主にトレース作業を効率化します。

3. 点群の球体表示

点群を球体に置き換えた表示に対応し、拡大時の視認性向上を図ります。

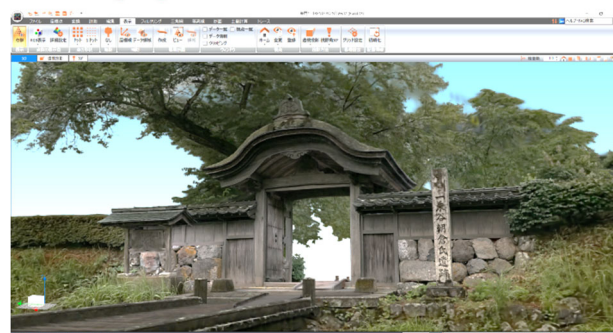
4. 出来形・出来ばえヒートマップの AR 出力

令和 7 年度の 3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）に記載されている「デジタル技術（AR 等）を用いた出来形立会確認」で活用する AR 出力に対応します。

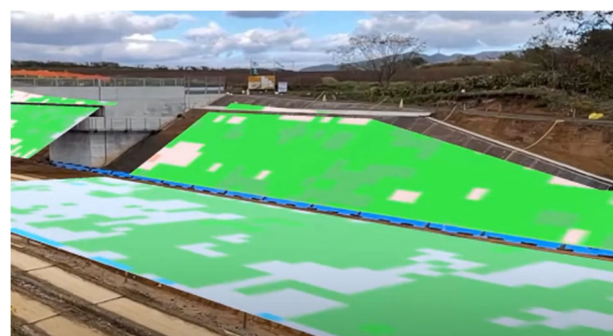
【リリース日】 2025 年 10 月 21 日（火）

【価格】 標準プログラム:144 万円（税別）

3D Gaussian Splatting 読込:10 万円（税別）



●3DGS による写実的な表示（画面は開発中のイメージです。）



●ヒートマップの AR 投影イメージ（画面は AR デバイスのキャプチャです。）

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータ株式会社 事業本部 営業部 営業推進課 担当：牧野
福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP：<https://const.fukuicompu.co.jp/>
Tel：0776-67-8860 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

【TREND-POINT Ver.12 新機能】

1. 3DGS による写実的な 3D 表現 ※オプションプログラム：3D Gaussian Splatting 読込が必要

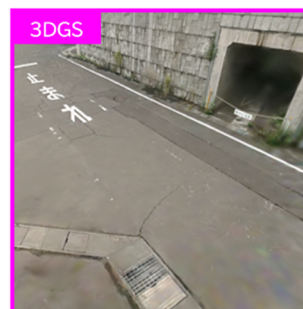
3DGS は、2023 年に登場したオープンイノベーション技術で、主に LiDAR SLAM で取得した点群データの各点にガウス分布による広がりを持たせ、点群間を滑らかに表示することができる技術です。今回この 3DGS データ（ply/spz/splat）の取り込みに対応し、写実的なモデルを 3D 空間に再現できる機能を搭載しました。

※3DGS データは LiDAR SLAM 機器やモバイルアプリ等で生成されるものであり、対応機種につきましては各メーカーまたは販売店にお問い合わせください。

3DGS による表示は、一般的にレーザースキャナー等で取得する点群データよりも密度の低い点群によって生成されますが、非常に写実的なモデル再現に優れております。特に看板等の文字やコンクリートのクラック、微細な凹凸やガラスなどの被写体は、従来の点群に比べ圧倒的に鮮明に再現されるため、これまでの計測用途のほか、インフラの維持管理調査業務や災害記録、遺跡や文化財などの記録（デジタルアーカイブ）として活用いただけます。



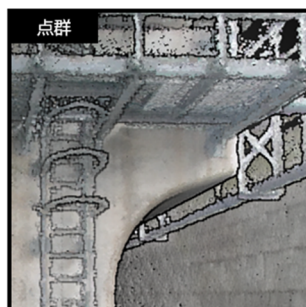
●チョーク書きまで視認できる



●境界やクラックも鮮明に見える



●写実的に表現できる



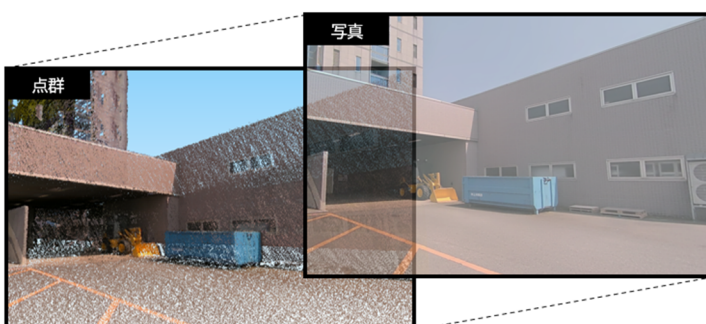
●ガラスなどの再現性が高い



2. 点群と写真の重畳表示

レーザースキャナーや LiDAR SLAM など、スキャニングと同時に取得するパノラマ写真（E57 ファイル等）を取り込み、本製品において点群と写真の重畳表示に対応しました。正確な座標を持つ点群に、細部の視認性が高い写真を重ねて表示することができるため、拡大すると見えづかった構造物の角や道路の白線、クラックといった部分における、トレースやマーキング作業を効率化し、維持管理業務や調査・点検業務などを支援します。

※3DGS と異なり、LiDAR SLAM などの機器が通った軌跡上における、任意の位置で撮影された写真のみ重畳表示が可能です。



3. 点群の球体表示

通常、点群は小さなドットで表示されているため、対象物を拡大表示するほど点群間の空白部分が広がり、形状や色彩の把握が難しくなります。これを補うため、点群を中心に自由な大きさで球体を生成、表示する機能を追加し、拡大時の視認性向上を図っています。



4. 出来形・出来ばえヒートマップの AR 出力 ※オプションプログラム：ベクトル差分析、出来形管理支援（港湾を除く）が必要

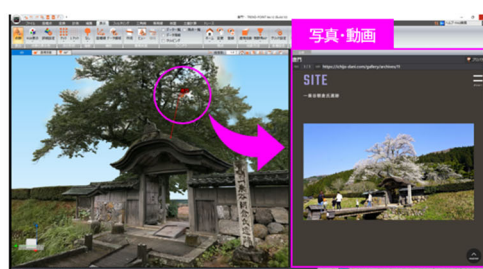
令和7年度の3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）に記載されている「デジタル技術（AR等）を用いた出来形立会確認」では、面管理を実施する工種での出来形立ち合い確認において、従来の紙資料を用いた方法から、ARを活用した方法が認められるようになりました。これにより、今後ARを用いた出来形管理の需要が高まることが予想され、TREND-POINTで作成したヒートマップを、ARデバイスにダイレクトに出力できる機能を追加しました。



5. その他の新機能

注釈への情報付加

点群上に追記できる注釈に、写真や動画（360°パノラマ含む）、図面やPDFファイルを登録できる機能を追加しました。第三者への説明等において現場に関連する情報をより詳細に伝えることができ、スムーズな合意形成を支援します。



PDFファイル

写真・動画

360°写真・動画

URLリンク

ブラシ選択

点群の不要な部分を削除する場合の選択方法として、ブラシでなぞって対象を選択できる機能を追加しました。



GeoTIFF ファイル読込の高速化

従来に比べて 7 割以上の読込み時間短縮を実現しました。

日本測地系 2024 への対応

測地成果 2024 に伴い、座標系選択の詳細設定で測地原子「日本測地系 2024」が選択できるようになりました。

J-LandXML1.7 への対応

LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準（案） Ver.1.7 に対応しました。

座標点の Z 座標更新機能

Ctrl+クリックで Z 座標だけ更新する機能を追加しました。

浚渫工（河川）出来形検査の強化

浚渫工（河川）における検査データの書き込みに対応しました。

差分解析の強化

メッシュ、三角網、点群において、任意方向で評価できる機能を追加しました。構造物の角の評価に利用できます。

その他の強化項目

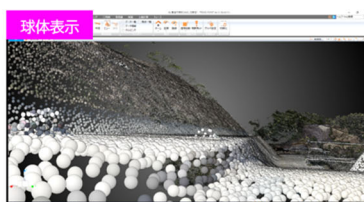
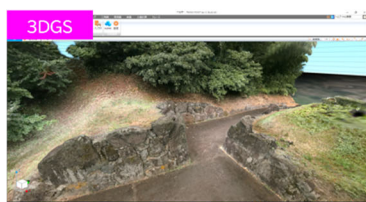
- ・データ一覧における「選択中のデータのみ表示」により確認したいデータに即座に切り替えが可能となります。
- ・広域なデータにおける表示の見切れを改善しました。
- ・トレース面を三角網に登録できるようになりました。

6. 補足

参考画像

下記 URL より、新機能で再現した点群の拡大画像をご覧ください。

<https://const.fukuicompu.co.jp/products/trendpoint/v12sample.html>



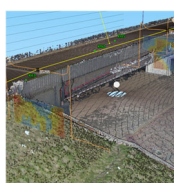
ビューア版（点群サンプルデータ）の提供

下記 URL より、3DGS をはじめとした新たな点群表現を体験できるビューア版をダウンロードいただけます。

※ビューア版：TREND-POINT を持ちでない方でも、点群データの閲覧、計測などを行えるプログラムです。（点群の編集やデータ出力などは行えません。）

※提供するビューアは開発中のプログラムで作成しております。製品版と一部動作が異なる場合がございます。

https://const.fukuicompu.co.jp/download/tp_viewer/index.html



以上